

《ご提案》 文章分析のお試し

当社の文章分析技術のレベル、信ぴょう性の確認のために文章分析のお試しを望まれる場合は、公開可能な分析結果（全国紙社説）をご請求ください。

当社では、文章分析精度の維持・向上のために、全国紙5紙社説を2001年1月から毎月欠かさず、月単位で分析しています。1ヶ月の5紙社説件数は約270件あります。

多数の分野、目的での分析をしております。当社の分析実績をご請求ください。

御社、社内データを使った分析のお試し

できれば、お試し分析の目的を、漠然でもよいですから、お示しください。

ご提供いただける文章データについて、予め、ご自身で所感をお持ちください。書き留める必要はありません。イメージして戴くだけです。

分析は、推測を確信に変えます。

「意外性が出現するかもしれません。」「見えていなかった所が見えてきます。」「文章の特徴が数と言葉で表されます。」

分析結果は、分析プロセスである分解、基本分析データから、通常形式のアウトプットまでをお届けします。（分析プロセスの分解、基本分析結果のご提供は、お求めになりたい最大の可能性をご検討戴くためです。）

お試しのための、分析をするデータ(分析対象データ)について

データ形式 日本語デジタルデータ

データ量 10件以内 1件データは600字以上2000字以内 アンケートデータは文字数1000文字で1件とカウントします。（多量データの場合はご相談ください。）

文章形式 報告文、論文、メール文、MBO、アンケートデータ等々。入社エントリー、昇格試験論文。仕事に関わる文章データ。マニュアル、商品案内文なども可。（詩などは不可）

文章形式で示しているデータの種類の混在しても構いません。

社内の文章データには様々な可能性が含まれています。

商品の解説書、紹介文などの分析を重ねると、ものつくりのコンセプトが現れてきます。各部署の日々の活動を分析すると、目的や成果の姿が現れるはずですが、隠されている知識・技術が出てきます。社内文章を多数分析すると暗黙知が出てきます。そこに新たな可能性が出ているかもしれません。見過ごされていた機会の発見につながるかもしれません。

文章分析の目的

◆個人に焦点を当てる

- ①採用・昇格等を目的として個人の特性（姿勢、能力、意識方向、思考&表現スタイル等）を探ります。
- ②育成ポイント抽出のための分析ができます。知識・技術の分布を探ります。
- ③個人文章（メール文、報告文等）を継続して分析し、僅かな変化からメンタル・ヘルス・チェックとして活用できます。

etc.

◆組織に焦点を当てる

- ・組織人材のデータを集めて組織の特徴を分析抽出します。組織状態を知るとき個人分析を含みます。
 - ・個人を分析せずに10問程度の記述式アンケートを人材群に実施し、組織分析がおこなえます。
- ④組織の強みとそのレベルを抽出します。知識・技術の分布を調べ、業務との関係を把握します。
 - ⑤人材の互いの関係性、協調性を数値化し、プロジェクト編成、部署構成に活用できます。
 - ⑥組織内の形式知、暗黙知の区分ができます。

etc.

◆マーケットに焦点を当てる

- ・マーケティング情報は社内の方が一番ご存じです。特に現場の方々がよく知っているはずですが、気が付きが集計されていないだけでしょう。本来はマーケティングは社内から始めるのが良いはずですが。
- ⑦データの収集を工夫すれば、社員の報告書等々からのマーケット情報、顧客ニーズが取り出せます。

etc.

株式会社シードウィン

<http://www.seedwin.co.jp> mail:info@seedwin.co.jp

サテライトオフィス phone (0463) 60-2244
〒255-0004 神奈川県中郡大磯町東小磯879-3
センターオフィス phone (03) 6811-1233
〒132-0034 東京都江戸川区小松川1-5-8-906